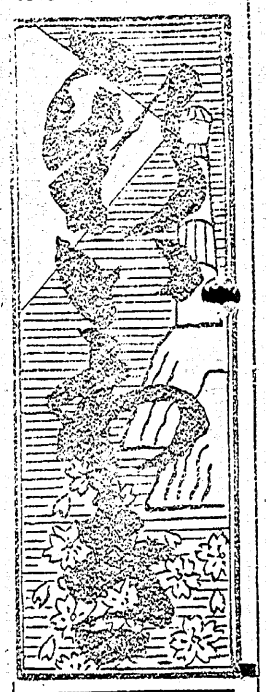
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）

【日刊】 昭和九年十一月十三日 新いわき 【火曜日】第二千三百二十七號 (一)

十一月十二日 夕刊



毎日曰曜除日 二十五銭一部二銭 郵送十五銭一部二銭 賞金料一行四十五銭 発行所福島市柳町 電話番号 発行所福島県平町大町二三 新いわき新聞社

阿彌陀堂の屋根替へ
工費七千數百圓で
材料は和歌山職師は京都から
來春早々着工の模樣

石城郡内郷村白水の阿彌陀堂は永暦元年岩城氏の祖則道の後室憑尼が亡夫の冥福を祈るべく陸中平泉の金色堂に模して創建され安置の佛像五体の内本尊阿彌陀、持佛觀音、勢至の三体を國寶に指定され堂宇も共に七百余年前の建作として世に知られてゐる所であるが明治三十七年修理後の堂宇の屋根木羽葺は漸く腐朽し地元民は此の葺替へに代議士比佐昌平氏を介して文部省に陳情中であつたところ今回愈よ主務省にも改修を内定し昨十一日歸省中の比佐代議士宅に内郷村長並に堂の住職その他を會し葺替え費の地元負擔關係等を打合せた同工事は來る二十日本省に保存委員會を開き更に二十三日審査會を經て決定されるものゝ如く總工費七千數百圓に對して國庫補助七割程度の殘りを地元に於て支出することになるらしく或る一部には銅屋根になるものゝ如く傳へられもしたが全然誤りで古代の影を遺す保護建造物は其のまゝ古風に則し材料を和賀山から移入する長木羽に職師は京都市から招かれる模樣であつて來春早々着工される事になるであらうと

石城の稻作減收高
四萬四千石の見込
低くて内郷の二分高さは川前
郡内到るところに悲鳴

石城郡に於ける稻作實況は第一回の調査に於て山地部落を除きては割合の好成績を豫想されてゐたが愈よ實收穫に臨んだ第二回の調査に入り郡一圓に亘つて悲觀の聲を上げ同郡駐在米山技手の詳細なる調査によれば三十四ヶ町村の中最低減收が内郷村の二分減收高は川前村の七割減で最初平年作位に漕ぎつけ得るだらうと見られてゐた夏井は九分、神谷は一割一分、草野、飯野平窪等にありても二割の減收と云はれるに至つた郡の總体減收は十七萬石の平年作に對して二割五分九厘七毛を算出され約四萬四千石の收穫減は免かれまいと唱ひられてゐる

今年の傳貧馬
十三頭
内疑似症六頭

石城産馬組合に於ける傳貧の巡回檢診は農林省の方針による年五回の内第四回目を去る十月三日から開始し既に半ばを回診して來る二十三日頃終了されるが病馬皆無の模樣である尚ほ第五回は十二月初旬から明春二月末までに施行の豫定で傳貧終息期に這入る同期間にも大体無事を見込まれてゐるが今年の病馬は總數十三頭（内疑似症六頭）であると

常識講座

エーア・ラインとは航空路のことである、エーア・ボートと云へば飛行機の發着するところ、エーア・ポケットと云ふのは空中の一部で氣流が渦巻となつてゐる個所のことである

石城民政の秋季總會
比佐代議士の時局談
昨十一日平町の同黨クラブで
同志の出席約七十名

石城郡民政同志の秋季總會は昨十一日午後二時から平町同黨クラブ樓上に於て開催された出席者は約七十名で幹事吉田寅之輔氏開會の挨拶を兼ねて會務の報告を終り臨席の比佐代議士から時局談があり若槻總裁の辭任は去る八月に出てゐるもので今俄かに騒ぎ出したものではない總裁辭任に對し黨代議士を擧げて翻意懇請に盡したが意を容れられなかつた詳細なる事情並に總務制を採つて町田商相を會長に推したものを暫定的と云はれもするが現在の事情では恐らくは町田會長は總裁を引受けては呉れないであらう而して他から移入總裁を仰ぐことにも一致が容易でないので當分この委員制が續くものと見られるが政友會の如く總裁の椅子に奪取暗闘を繞くよりは互に席を譲ることが尊ろ美しいと語り次へで藏相の財政策に感服の出來ない二、三を述べて懇親の宴に移り食堂美人數名の酒間幹旋に萩原、草野縣議等を初め隠藝を演ずる迄に一同の興を揚げ午後三時半散會した

紹介宣傳に
六十六名
十日の即日申込

平職業紹介所に於ける去る十日の紹介日の大運動は既報の如く在郷軍人、青年團、平婦人その他各種團体の應援を受けて街頭宣傳に求人開拓を行つた結果勿來町大日本炭礦々業所から五十名の大口申込あつた外十六名合計六十名の即日申込みがあつたが年別を上ぐれば左記の如くである

十八才以下八　十九才から三十才六　三十一才から四十才五一　四十一才以上一

非常時局講演會
憂國の熱の雄叫び
石城郡内四ヶ所に於て

東京朝日新聞平通信部並に同販賣部主催非常時局打開の講演會は内務省嘱託木村智文氏及び海軍大佐橋本才輔氏を招ぎ昨十一日石城郡内郷村磐城炭礦淺野會館に於て左記演題下に愛國の熱辯を揮はれたが聽衆一千余名會場立錐の余地なき盛況であつたが今十二日午後六時から湯本町湯本座に同樣の講演ある筈で引續く十三日は平町楽楽館十四日は四倉町に何れも午後六時から該講演會を催されるが兩講師の熱の叫びは共に國民をして奮起惜かしめざるものがあると非常時局とは何ぞや……木村智文氏　軍縮會議に直面して……橋本才輔　以上

市制調査に
下打合せ
十五日町是調査會

平町に於ける市制準備調査會は既報の如く各部門を定めて眞劍な調査に着くべく組會の計畫あるは既報したが來る十五日午後一時左記町是調査委員會を開き右部門分けの決定をなすと

井上茂作　野崎滿藏　多田
井矣次郎　占出金作　馬目
雅治　萩原義雄

無名の少女が
凶作地へ
白米二升と現金二十六錢

平町役場へ昨十一日午前十一時頃十三才位の少女が白米二升と小使錢の殘りと稱して金二十六錢を氏名を明さず凶作地へ惠んで下さいと置き去つたので町では身元を探した結果町内材木町三〇石山忠三長女平第二六年生智子（一三）さんと判り其奇特を感心されてゐる

平の區長會

平町では明十三日午後一時から區長會を開き入營兵の送別會及び夜警に關して協議をなすと

岩城太平記
（6）

竹右工門は無念のはがみをなし此度は仕損じたれ共我魂惡鬼となり族が一家殊に彦右衛門を取殺し無念をやすめん嬉しやと云ひければ族此事を聞へて頓て山野井茂右工門同八右工門兩人を呼て竹右衛門恐くの惡言なり留野彦右工門と三人一所にしめし合せ今夜中に獄屋へ忍び館にて突殺すべしと云ひければ心得たりと三人は黑頭巾に黑裝束にて獄屋へ忍のび三人一度に牢の内へ突込ければ闇さいくらけれども館先摑へて突ければ水もたまらず突留ける、淺賀無念におもひ大聲上げ下郎の手にかゝり死する事末代の恥辱なり生かはり死かはり恨みをなさで置くべきかと終にむなしく成りにけり

淺賀死靈に成る事、附小性騒ぎの事

こゝに族之助は淺賀を殺し今は心に掛る事なしと大藏を待しければ夫より死靈は出でんと悦ぶ處に竹右工門死して三日目の夕暮より族が家に恐ろしく生首出で眼をひらきうらめしやと云ふ聲家も崩るゝばかりなり、又或時は釜の内より大きなる竹の子出る又爐の内より傘出る水瓶の内より火燃上り家内の男女氣を失ひ座頭よ醫者よと騒ぎけり、族左京殿の若殿にして家繼させまず藥王寺の圓知房と云ふは智者なるゆへに是を頼みて祈禱しければ夫より死靈は出でざりけり、族悦びけるに程なく大藏病づき煩三病（わづらひさんびやう）になりにけり族大に驚き名ある醫者を集め藥をもりけれ共更に快氣はせざり三年の内に漸く死けり淺賀を殺したる天罰やと悔めども返らざりけり、こゝに七年目に左京殿に小性六人ありけるが小性目付山井八右工門小性に殊の外惡言其上腰拔めらと云ひければ小性衆無念に思ひけん、

湯本で
前科六犯
宇都宮市の泥

西白河郡西郷村大字米生れ當時住所不定無職窃盗前科六犯菊地武（三六）は本年六月宇都宮刑務所を出て十月中旬中同市小門町植竹一方に忍び入り大島男袷羽織一枚價九圓外衣類數點二十五圓を窃取し石城地方に流れ込み去る十日湯本町を徘徊中平署に捕はれ取調べ中だが余罪ある見込み

各地の野球戰

石城郡古河炭礦の野球リーグ戰は昨十一日午前八時から同礦グランドに催され戰績は第一回戰好間八…〇本社　原町粉礦二…一好間　原町一〇…〇本社で原町優勝した

石城郡湯本町入山採炭に於ける東京大倉組本社との定期野球戰は昨十一日湯本町營グランドに開催十一對十で入山採

◎常磐毎日主催平町中等校職員野球の決勝戰は十一日午前十一時開始十四對七で磐女採

ハシカの流行

内郷村の御厩方面では昨今廉診の流行で其數六十餘名、幼兒をもつ家庭を恐怖させてる

出稼中行方不明

内郷村の御厩木賃宿中井武次（五一）は本年十一月初めから郡内江名町仲の作築港工事に出稼せるが去る二日情婦を連れて行方不明となり殘された家族三人が生活に困つて平署に捜索方を願ひでた

平窪消防檢閲

石城郡平窪村消防組の秋季檢閲は來十二月二日同村小學校々庭に於て執行すると

聽け憂國の熱辯を

講演者
非常時とは何ぞや　木村智文氏
軍縮會議に直面して　海軍大佐　橋本才輔氏

非常時局打開
大講演會

十二日午後六時　湯本町　湯本座
十三日同　平町　楽楽館
十四日同　四倉町（未定）
但場内整理の爲ド足料九錢を申受く

主催
東京同
朝日新聞
平通販
信賣
部部

農作今後の對策に就て

(二) 縣農試本場丁生

農業が進んで農業者が貧乏すると云ふことが今日あるとすれば、强ち農學研究が實用を遠ざかつた所謂學者のための農學であると云ふ非難ばかりに罪を負はしむるものでなく、一面苦々農業當事者が積極的に近代科學を實際化する趣味と、努力とを缺いてゐることが、農業發展上一大缺陷であることに想到せねばならない、

農業生産事業に自然を相手とする、而も自然の條件は決して規定にはまつた樣に流轉するものでなく、時には至極誂ひ向の天候下にあることもあるだらう、又今年の樣に異狀的な天候に見舞はれることもある、よい天候の年は豐作で、惡い天候の年は凶作と決まつてゐるなら、それは農業ではなく放農である、ところが今日尙ほ放農の遣り方をとつてゐる人が可なりある、こんな人は、てんで最近の科學等には耳を傾けず昔のまゝの遣り方である、而もその人の言動がその人個人だけですめばよいが、他人の迷惑になることがあるから堪まらない、今一、二の例をとつて見れば落水期はどう云ふ時期に斯ふ云ふ風に遣れと云ふても馬耳東風史に聞くものが自分勝手に水を落す、上の田を外さるれば下の田も之れに和するの止むなきに至る仕末、イモチには石灰ボルドー液撒布に限ると奬めても餘計なおせつかいとてんで實行しない、積雪地の麥裵培に當り菌核病防除法として天下無比の防除藥をすゝめても徹底的に實行する人は極く僅かだ、

若人向、紳士向
冬の中折帽子とネクタイ
富豊柄流行流行新
特選優秀ソフト ¥2,00
〃 國產フワー ¥5,50
セラフイツク 帽 ¥6,00
ツルヤ に 電一四〇

美味で評判の
イワキ サロン
平町 電三五二

淋病最新藥
美神淋藥
一週分 四、五〇
二週分 八、〇〇
代理店 平町 山野邊藥局

解雇廣告
白土泰千代
右の者弊店修繕工として雇入中不都合の廉あり顧客樣に御迷惑をお掛け申譯無之に付直に解雇致候、就ては今後共何卒倍舊の御愛顧を相仰度乍略儀此段御託旁々紙上以御願申上候、
平驛前 秋山時計店 秋山季男 敬白

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舗 (電3)

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一
内科 完醫學博士 石山謙郎 (電話六四一番)
小兒科 部長 手醫學士 平賀一忠
産婦人科 副院長 醫學博士 五十嵐雄二 (電話三七)番
外科耳鼻咽喉科 部長 醫學士 坂本眞一郎
皮膚泌尿器病科 部長 醫學士 前澤正 (電話二七二番)
X光線療物科 醫學博士 石山謙郎
衛生試驗所 技術員 獸醫 石山謙
事務長 鈴木寶雄
藥局 藥劑師 吉本孝平 高後利雄
(毎日午前八時より午後十時迄診療)
◎…病室完備…入院隨意…◎

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町 電話五一三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

鼻の諸病に快鼻湯
本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から參つて居ります
効能 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症 頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻背彎曲症、並に中耳炎に神効の賞讃を受く
有効保證
(快鼻湯) 製劑販賣元 水野藥局
磐城平町一丁目(電話六九九番)
振替口座仙台(八八七六番)

雨露を防ぎ風を通す
煙突は朝日煙突
石綿セメント製
朝日煙突
絶對にはぜあいやけあいくさらあいいい
經濟的で便利でよい
㊗谷屋商店

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆樣の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平町南町 電三〇七
平看護婦會 會長 清野キヨ
經濟的な御便宜ご用命をお願致す
御手不足の御家庭輕い御病人の付添姙婦産婦の御家庭

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番
●自炊の便あり●

マグネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
『治療代』…は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します
嘘か實か百聞一見御試し下さい
治療所 日中は城山樂樂園(電話一〇九) 日沒後は一丁目自宅(電話四七〇)
醫療士 飯田近治

磐城名産特賣所
御土産物には郷
石城みやげ 七濱の生産品 地元産の果實
平みやげ 名菓各種
土の名産が第一
平町驛前

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正一 平町二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

石炭 コークス 豆炭
平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番